

5. 計画概要...5.4mのペDESTリアンダック複合建案

5-1. 逃げ動線ダイヤグラム

災害時、この建物が避難の場として5.1~5.3mまで使用される可能性がある。この間に、いくつかの建物を併せて5.4mのペDESTリアンダック複合建案を提案する。建物は以下のように設計する。五つ子商店街、顔動線集合住宅、大きな口の庁舎、外を覗く保育園、鼻漕り台付き駅。建物の間から抜ける①、②のペDESTリアンダックはそれぞれ異なる1.3mの大きな開口と大きなスロープを設ける。震災の際や、避難するような場合、バスや車が通るスロープなどを活用できるように設計する。①、②のペDESTリアンダックは、③の4階の駐車場の階に組み込み、それぞれの建物をつなげるものである。

逃げ動線ダイヤグラム



5-3. 「顔相形態」を用いた5つの提案

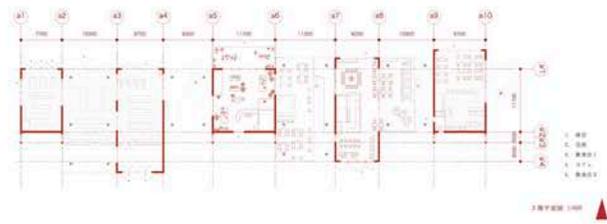
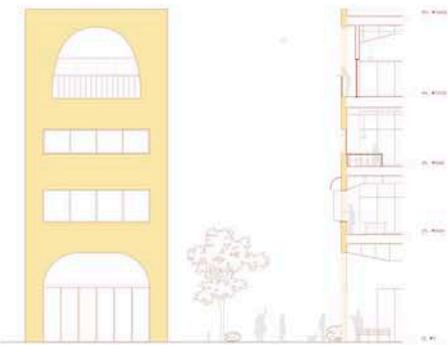
1. 五つ子商店街
(連带的顔相) × (店舗併用住宅)

敷地北側に計画する「五つ子商店街」は1階が商店、2階、3階、4階が住居の建物が計画されている。それぞれ異なる「顔相」がアーチのデザインを取り入れる。『顔相の顔相』の構築である。



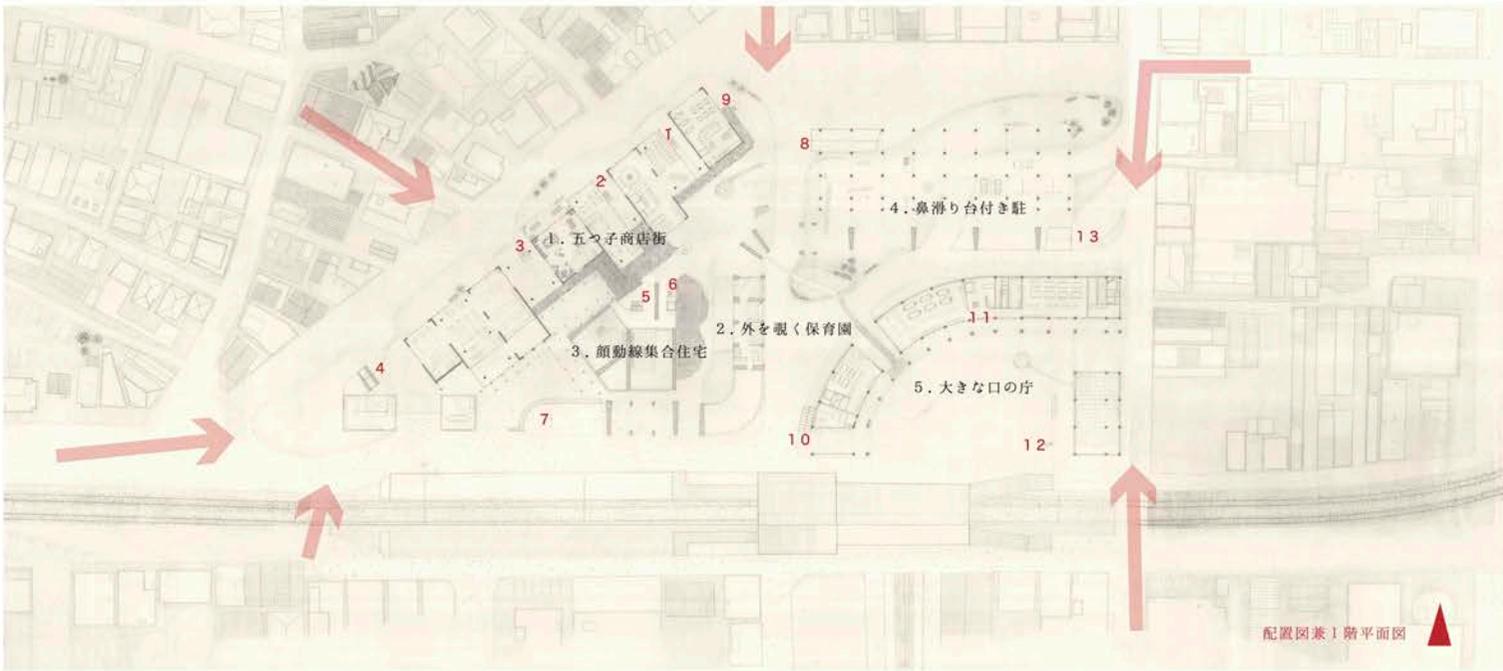
顔相1 (顔相1) 顔相1
顔相2 (顔相2) 顔相2
顔相3 (顔相3) 顔相3

[平常時] 五つ子商店街



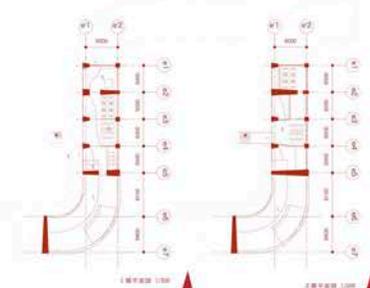
5-2. 配気図兼1階平面図

建物は以下のように設計する。敷地北側に五つ子商店街、敷地南側に外を覗く保育園、敷地東側に鼻漕り台付き駅を計画。鼻漕り台付き駅に大きな口の庁舎、敷地中央部に顔動線集合住宅、敷地南側に大きな口の庁舎を配置する。

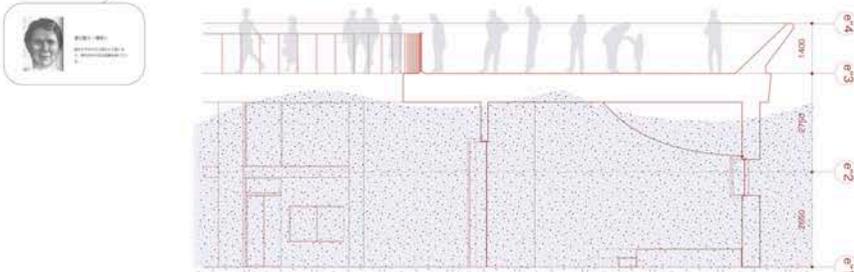


2. 外を覗く保育園
(複層的顔相) × (保育施設)

敷地中心を通る、ペDESTリアンダックの下に計画するの「外を覗く保育園」である。正面に4階建てあり、内から異なる2階に計画する「複層的顔相」である。



[災害時] 外を覗く保育園

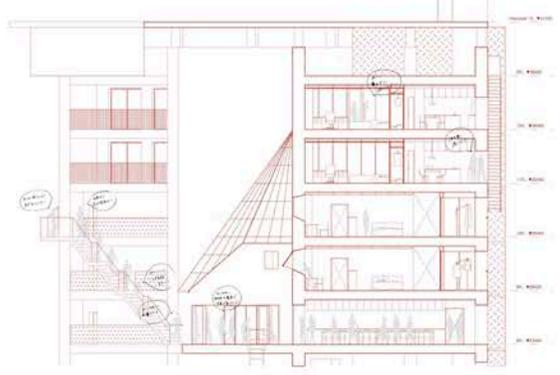


3. 顔動線集合住宅
(比例的顔相) × (集合住宅)

集約的都市空間に於ける「顔動線集合住宅」は、道路、顔動線、集合住宅である。その中心となるのは、顔動線の内蔵機能であり、「比例的顔相」を主とする。



[災害時] 顔動線集合住宅



1階平面図 1/500



2階平面図 1/500



3~7階平面図 1/500



11・12階平面図 1/500



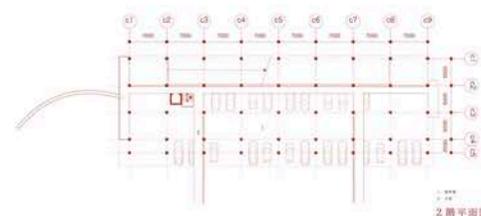
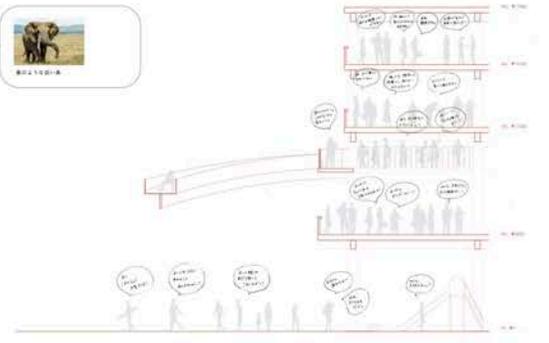
9・10階平面図 1/500

3. 鼻滑り台つき駐車場
(部分的顔相) × (駐車場)

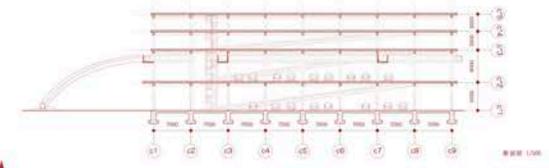
集約的都市空間に於ける「鼻滑り台つき駐車場」は、ハイブリッドな空間となる。遊園地である。遊園地としての楽しみと、顔動線としての楽しみが、集約的都市空間に於ける「部分的顔相」を主とする。



[災害後] 鼻滑り台つき駐車場



2階平面図 1/500



4. 大きな口の庁舎
(相対的顔相) × (役場)

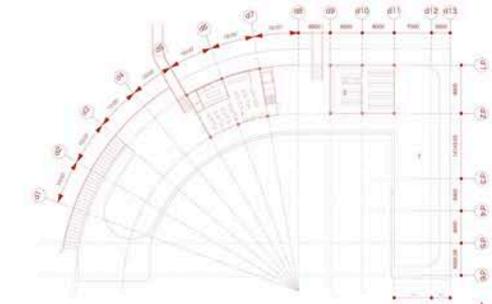
集約的都市空間に於ける「大きな口の庁舎」は、庁舎の一翼として機能する。その大きな口は、顔動線としての楽しみと、遊園地としての楽しみと、集約的都市空間に於ける「相対的顔相」を主とする。



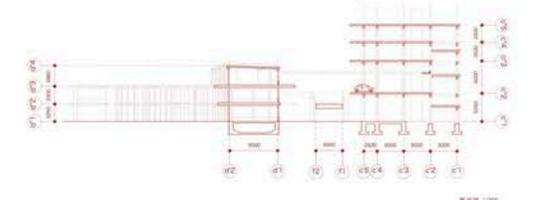
2. 内装(仮)図面 概観



1. 外装(仮)図面 概観



3階平面図 1/500



断面図 1/500